

産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS 案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS 案作成規程に基づき、当該 JIS 案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS 案の作成開始要件”を満たすことの事前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、次ページ以降の JIS 案作成対象テーマについて、理由（必要性）及び期待効果、JIS 案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS 案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS 素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS 案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS 作成予定一覧表として JSA ウェブサイト掲載いたします。

産業標準案作成対象テーマ一覧(改正)

認定機関	産業標準作成委員会	制定改正/廃止	規格番号	JIS案の名称	JIS案の英文名称	改正する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始予定
JSA	08 機械要素	改正	B4120	刃先交換インサート呼び記号の付け方 (現行規格: 刃先交換チップの呼び記号の付け方)	Indexable inserts for cutting tools - Designation	この規格は、切削用超硬質工具材料を用いる刃先交換チップの呼び記号の付け方について規定したもので、ISO 1832:2012を基に、一部技術的な内容を変更して2013年に改正している。 その後、対応国際規格ISO 1832は、チップ付き及びソリッド立方晶窒化ホウ素インサート、並びにチップ付き多結晶ダイヤモンドインサートの呼び記号を追加し、2017年に改正された。 対応国際規格の改正から6年経過し、国際規格との整合性が失われていることから、名称の変更や新たに加わったインサート等をこの規格に取り入れ、この規格を改正する必要がある。	今回の改正は、対応国際規格の改正点を取り入れ、国際規格との整合性を保つとともに、従来規定されていなかったチップ付き及びソリッド立方晶窒化ホウ素インサート、並びにチップ付き多結晶ダイヤモンドインサートの呼び記号が明確となり、使用者の製品に対する理解度の向上が期待できることから、生産性の向上、産業の合理化に寄与することが期待される。	主な改正点は、次のとおり。 ・対応国際規格の改正において追加された「チップ付きインサート」は、現行規格の名称だと「チップ付きチップ」となるため、Insertは「インサート」、tipは「チップ」とし、規格名称も「刃先交換インサート」呼び記号の付け方に改める。 ・対応国際規格で追加されたチップ付き及びソリッド立方晶窒化ホウ素インサート、並びにチップ付き多結晶ダイヤモンドインサートの呼び記号を追加する。 ・呼び記号の構成要素及び配列順序において、構成要素に「送り方向」などを追加し、そのために順序を改める。 ・推奨記号として、「チップ付きコーナの個数」「チップ付き切れ刃の長さ」などを新たに規定する。	—	ISO 1832:2017	MOD	第2条の該当号: 5(記号) 対象事項: 刃先交換チップ	法律の目的に適合している。	利点: ア 欠点: いずれも該当しない。		国際規格をJIS化するもの	一般社団法人日本機械工具工業会のWG	2024年1月